

長岡地区納税貯蓄組合連合会長賞 優秀

ゴミと税金の関わり

長岡市立北中学校

三年 野口 美結

最近、海に流れ出るゴミが魚や動物に影響を与えているニュースをみました。オーストラリアの海岸に打ち上げられたウミドリの死因を調べ体内から二百三十四個のプラスチックゴミが出てきたり、ウミガメの鼻にストローがささってしまったり、海のニュースです。ゴミの管理がきちんとされていないと海にゴミが流れ出てしまいます。これは、世界でおこっています。ある国では、ストローを使わないようにする取り組みが行われていたりします。

私は、今年海に行きました。そこで、あちらこちらにゴミがおちていることに気づきました。海岸に流れついたゴミや、海に遊びにきた人がおいていったゴミなどがおちていました。こういうゴミが、魚や動物に影響を与えそして、環境が悪くなってしまうことを見て改めて感じました。ゴミがおちている所は海だけではありません。道路にペットボトルなどが落ちていたりします。そのゴミを拾うボランティア活動が行われていたりします。私は、清掃ボランティアに参加したことがあります。清掃ボランティアの活動で集めたゴミ、身近でいうと家を出

たゴミ、このゴミは処理をしなければいけません。収集することもそうですが、処理をするためにも多くの税金が使われています。税金は、私たちが快適に暮らせるように使われています。ごみ処理をするために税金は必要です。一年間で、ごみ処理にかかる税金は国民一人あたり約一万八千三百円だそうです。しかし、ゴミが海に流れ出ることがおこっています。人間が毎日生活していたら、多くのゴミが出ます。リサイクルすることもできますが、リサイクルできないものもあります。税金を使ってゴミを収集し、処理をしても、毎日必ずゴミは増えていきます。ゴミをなくすことはできません。税金はずっとゴミの収集、処理にかかわっていきます。

税金はなくてはならないものです。しかし国民には負担がかかっています。貧しい人たちでも、物を買ったら少しだけですが税金をはらっています。だから、少しでも税金をなくすことができたらうれしいと思う人もいます。それには、買い物をする時にマイバックを持って行くことや、使い捨てでなくつめかえの物を使うなど一人一人が少しのことを続けることで変わってくるのではないかと私は考えました。できなくても、税金のことを国民が考えることが大切だと思います。私も、国民の一人として税金についてもっと知らなければいけないと思いました。